

令和6年度 事業報告書

社会福祉法人 愛耕福社会

令和7年度 社会福祉法人 愛耕福祉会

～法人理念～

地域に根差し 愛をもって心を耕す 人づくり

<ビジョン>

1. こどもの最善の利益を考える保育園
2. 養護と教育を一体的に行う保育園
3. 保育の質を追求し続ける保育園
4. 保護者や地域に心から信頼される保育園
5. 保育の専門性を活かし、子育て支援を行う保育園
6. 常に社会人としての自覚を持ち、社会的な良識に従って行動するとともに、地域社会から信頼される保育園
7. 職員一人ひとりがお互いの価値観、個性を大切にして、「やりがい」と「誇り」を持って働ける保育園

令和6年度 総括

令和6年度は我々福祉事業者を含む多くの中小企業にとって大きな課題が提示された一年でした。人材不足、最低賃金の増加、物価高騰、社会保険適用の拡大など、企業には不確実な環境の中でも、政策に応じた対応が求められています。近年、常に問題とされてきた人材不足は、全産業において経営を大きく脅かす要因となりました。日本の労働人口の減少に加え、若者、特に女性の県外流出、大手企業への人材集中は、地方中小企業の人材不足問題をより大きくしています。また、日本に約800万人いる団塊世代（1947～1949年生まれ）が75歳以上の後期高齢者になるという「2025年問題」が到来することで、社会全体に様々な影響が生じることが懸念されています。社会保障費の負担増や医療・介護体制の維持が困難になる可能性や、さらなる人材不足の深刻化が懸念される中、賃金や労働環境の改善等を通じた人材求人力の向上がより重要になっています。

ところで厚生労働省が今月4日公表した人口動態統計によると、2024年の出生数は68万6,061人で、1899年の統計開始以降初めて70万人を割り込んだことが明らかにになりました。これで出生数は9年連続減少し、過去最少を更新しました。国立社会保障・人口問題研究所が昨年4月に公表した将来推計人口（中位推計）では、外国人を含む出生数が72万人を割るのは2039年以降としており、15年も前倒しとなった格好です。少子化は日本経済の成長力や社会保障の持続性を左右することになり、日本にとって危機的状態とも言わざるを得ません。ここ雲南市においても少子化が加速したことで、令和7年度から三刀屋保育所の定員が110名（従来130名）になるなど、今後、園児数の減少が職員の雇用や経営に直結する事態が顕在化してまいりました。

保育業界にとって厳しい市場環境の中、「雲南市立かもめ保育園」は雲南市から業務受託後、令和6年度は17年目を迎えましたが、保育単価の高い0歳児の入園が急減（延べ人数：令和5年度81名→令和6年度57名）するなど、法人設立以来、財務面でその屋台骨を担って来た勢いに陰りが生じました。一方、雲南市から業務受託して8年目を迎える「雲南市立大東保育園」は、令和5年度同様、令和6年度も年度を通して0歳児がバランス良く入園（延べ人数：令和5年度101名→令和6年度159名）したことで業績が向上し、かつ収支のバランス（保育事業収入と人件費）が良かったことで大幅な収益増となりました。また、私立園として開園7年目を迎えた「みなみかも保育園」は、令和6年度の入園児数は令和5年度と同じ（64名）だったものの、0歳児の入園が増えた（延べ人数：令和5年度56名→令和6年度82名）ことで、事業活動上の収支は改善しました。法人全体としては、業務委託園（雲南市立かもめ保育園／大東保育園）が収益の源泉として法人の財務面を支える構造は変わりませんが、社会福祉法人の財務運用ルール（委託費等の弾力運用）上、業務受託園（雲南市立かもめ保育園／大東保育園）の収益（剰余金）を私立園（みなみかも保育園）に流用出来ないことが、経営上、最大のネックとなって

います。そのような状況の中、「みなみかも保育園」は建設費借入償還を一手に引き受けており、早期に単独施設による財政健全化を目指す必要があります。

続いて、業務受託後17年目を迎える「だいとう病児・病後児保育室つくし」は子どもの健康安全上、安心して利用できる点を評価されており、令和6年度も堅調な利用で推移しました。一方で保護者に広く制度を認知されているとは言えず、かつ利用のしやすさにも課題が山積しているため、さらなる改善に取り組む必要性を感じました。そして令和7年度は、雲南市から待望の「雲南市木次子育て支援センター」を受託することになりました。当センターは通称“くりおね”と呼ばれており、「地域子育て支援拠点事業」として、子育て中の親子が集まって交流や育児相談ができる場を提供し、地域の子育て力の向上を図ることを目的として設置されたものです。当センターはこれまで雲南市立斐伊保育所併設となっていたましたが、令和7年度から斐伊保育所の運営が民間に業務委託されたことから、保育所の保育環境改善方策により移転新築されました。雲南市内の子育て支援センターは現在5カ所（大東・加茂・木次・三刀屋・掛合）あり、内3カ所（大東・加茂・掛合）を民間事業者（社会福祉法人）が運営業務を受託していますが、当センターは利用人数が雲南市で最も多く、当該事業の中核的存在です（令和5年度利用実績：延べ10,090人／雲南市内では51.5%のシェア）。また、当センターには「雲南市ファミリーサポートセンター木次支部」も付随事業として受託することになっており、「雲南市立大東保育園」内に併設している「雲南市ファミリーサポートセンター大東本部」や既存保育園と積極的に連携することで相乗効果が期待できることから、この度の業務受託を機に、法人全体の業容拡大につなげて参ります。

最後になりましたが、当法人は令和7年3月10日をもって、法人創設10周年を迎えました。これを契機に法人運営を第2創業期と位置付け、役職員一丸となって持続可能な法人となるよう大きな一歩を踏み出してまいります。

以 上

令和6年度 法人本部 事業報告

1. 理事会

○＜第1回 令和6年6月6日（木）10時00分～11時30分＞

報告及び議事

第1号報告 「理事長の職務執行状況報告」について

第2号報告 「専務理事の職務執行状況報告」について

第1号議案 令和5年度事業報告について

第2号議案 令和5年度決算報告について

監事監査報告

第3号議案 定時評議員会の招集について

○＜第2回 令和6年9月10日（火）9時25分～9時55分＞

報告及び議事

第1号報告 「令和6年 将来世代応援企業表彰」受賞について

第1号議案 「就業規則」の一部改正について

第2号議案 「評議員選任・解任委員会委員」の選任について

○＜第3回 令和6年11月11日（火）13時27分～14時10分＞

報告及び議事

第1号報告 「令和6年度 雲南市実地指導監査」実施結果について

第2号報告 「令和6年12月1日及び令和7年1月1日付」人事異動について

第1号議案 「雲南市木次子育て支援センター」及び「雲南市ファミリーサポートセンター木次支部」の運営業務受託について

第2号議案 「定款」の変更について

第3号議案 「経理規程」の一部改正について

第4号議案 「職員紹介採用（リファラル採用）制度規程」の制定について

○＜第4回 令和7年1月24日（金）9時20分～9時55分＞

報告及び議事

第1号報告 「理事長の職務執行状況報告」について

第2号報告 「専務理事の職務執行状況報告」について

第1号議案 「令和6年度資金収支第1次補正予算」について

第2号議案 「定款」の変更について

第3号議案 「土地不動産売買契約」の締結について

第4号議案 「土地不動産売買契約」締結に伴う土地購入資金の借入について

第5号議案 評議員会の招集について

○＜第5回 令和7年3月31日（月）13時30分～15時10分＞

報告及び議事

第1号報告 「令和7年4月1日付」人事異動について

第2号報告 「健康経営優良法人2025（中小規模法人部門）ネクストブライト1000」認定について

第1号議案 「雲南市木次子育て支援センター」の所長（センター長）人事について

第2号議案 「評議員選任・解任委員会委員」の選任について

第3号議案 「令和6年度資金収支第2次補正予算」について

第4号議案 「令和7年度事業計画」について

第5号議案 「令和7年度資金収支予算」について

第6号議案 「経理規程」の一部改正について

第7号議案 「給与規程」の一部改正について

第8号議案 「就業規則」の一部改正について

第9号議案 「準職員（フルタイム／短時間）就業規則」の一部改正について

第10号議案「育児・介護休業等に関する規則」の一部改正について

第11号議案「業務受託保育園並びにみなみかも保育園運営規程」の一部改正について

第12号議案「雲南市木次子育て支援センター運営規程」の制定について

第13号議案「私有車の業務使用に関する規程」の制定について

2. 評議員会

○＜定 時 令和6年6月21日（金）10時00分～11時10分＞

報告及び議事

第1号報告 令和5年度事業報告について

第1号議案 令和5年度決算について

監事監査報告

○＜第1回 令和7年2月13日（木）10時00分～10時20分＞

報告及び議事

第1号報告 社会福祉法人愛耕福祉会設立10周年記念式典の開催について

第1号議案 「定款」の変更について

3. 内部監査会

○＜令和6年5月27日（月）16時00分～17時00分＞

議事

令和6年度決算内部監査

4. 監事監査会

○＜令和6年5月28日（火）13時00分～16時15分＞

議事

令和5年度決算監事監査

5. その他

○＜運営連絡協議会（法人管理職会）＞

参加者 理事長・岩田専務理事・園長

開催数 12回

○＜衛生委員会＞

参加者 産業医（雲南市立病院・大谷病院事業管理者）・理事長・衛生管理者・看護師

開催数 12回

○＜環境衛生検査＞

内 容 学校保健安全法に基づく環境検査測定（照度・水質・ホルムアルデヒド・放射線測定）／上代 茂 評議員様ご協力の下、かもめ保育園／大東保育園／みなみかも保育園で実施

○＜令和7年度入職員（保育士）採用試験＞

日 時 令和6年9月28日

場 所 雲南市大東地域交流センター

結 果 保育士1名採用

○＜令和6年度入職員（事務員）採用試験＞

日 時 令和6年11月2日

場 所 法人本部

結 果 事務員1名採用

○＜令和7年度入職員（保育士）採用試験＞

日 時 令和7年1月18日

場 所 法人本部

結 果 保育士3名採用

○＜令和7年度入職員（事務員）採用試験＞

日 時 令和7年2月15日

場 所 雲南市大東地域交流センター

結 果 事務員2名採用

○＜令和6年度正職員転換試験＞

日 時 令和7年1月27日

場 所 法人本部

結 果 1名転換（応募者数1名）

○＜登録／認定／受賞＞

(1) 名 称 「令和6年 将来世代応援企業表彰」

受賞日 令和6年5月15日

(3) 名 称 「健康経営優良法人2025（中小規模法人部門）ネクストブライト1000」

認定日 令和7年3月10日

以 上

令和6年度法人主催研修報告

月	日	研 修 名 (研修内容)	講師名	会 場	対 象	備 考
4	5 (金) 6 (土)	島根県中小企業同友会合同新入社員研修			石飛め・高橋・濱村	6年度新採
〃	16 (火)	成果を上げるための業務改善 (1回目)	株式会社パワートレイン 森 頭一	加茂交流センター	鶴原・田中・松本龍・藤原重・石原京・渡部康	
〃	25 (木)	プロジェクト事前打ち合わせ	エイデル研究所 熊谷 耕・金子愛美	本部会議室	理事長	
5	18 (土)	第1回目プロジェクト会議	エイデル研究所 熊谷 耕・金子愛美	〃	堀江・足立・江隅・小山・和久利・神庭	ズーム (2時間)
〃	21 (火)	成果を上げるための業務改善 (2回目)	株式会社パワートレイン 森 頭一	加茂交流センター	鶴原・田中・松本龍・藤原重・石原京・渡部康	
6	8 (土)	第2回目プロジェクト会議	エイデル研究所 熊谷 耕・金子愛美	本部会議室	堀江・足立・江隅・小山・和久利・神庭	往訪 (3時間)
〃	14 (金)	職場のリーダーに求められる統率力の向上 (1回目)	株式会社Gスポット 道園 佳明	加茂交流センター	武田理・中村・松本っ・原田・渡部愛・佐藤有	
7	6日 (土)	第3回目プロジェクト会議	エイデル研究所 熊谷 耕・金子愛美	本部会議室	堀江・足立・江隅・小山・和久利・神庭	往訪 (3時間)
〃	17日 (水)	職場のリーダーに求められる統率力の向上 (2回目)	株式会社Gスポット 道園 佳明	加茂交流センター	武田理・中村・松本っ・原田・渡部愛・佐藤有	
8	21日 (水)	ストレスチェック制度を用いた職場環境改善と生産性向上 (1回目)	株式会社インソース 棚橋 晶	〃	深田・佐藤・周藤・野々村・石原・嘉本	
9	7日 (土)	第3回目プロジェクト会議	エイデル研究所 熊谷 耕・金子愛美	本部会議室	理事長・専務・堀江・足立・江隅・小山・和久利・神庭	往訪 (3時間)
	20日 (金)	ストレスチェック制度を用いた職場環境改善と生産性向上 (2回目)	株式会社インソース 棚橋 晶	加茂交流センター	深田・佐藤・周藤・野々村・石原・嘉本	
11	16 (土)	法人職員研修	島根県立大学教授 西村 健一	大東保育園	法人全職員を分けて11月か1月のどちらかに参加	
1	11 (土)	〃	〃	〃	〃	
各種研修		・しまね働く女性きらめき応援塾 (7月・10月・12月・2月・3月) ・島根県中小企業同友会主催 ・その他			希望者	

令和6年度 雲南市立かもめ保育園事業報告

1. 保育の理念・保育目標・保育方針

【保育理念】

こども一人一人の育ちを支え、保護者・地域と連携を図りながら信頼関係を深め、地域に愛される保育園をめざす。

【保育目標】

心身ともに健康で、主体性を発揮するこどもを育む

【めざす子ども像】

- ・なんでも食べる丈夫なこども
- ・自分のよさに気づき、自信をもつこども
- ・自分の思いや考えを表わすこども
- ・人、もの、ことに意欲的にかかわるこども

【保育方針】

○丈夫な体作りと基本的生活習慣の獲得

こどもたちがこれからの生活を健康に過ごしていくために家庭と連携して、「しっかり食べる」「ぐっすり眠る」「いっぱい遊ぶ」というリズムを整え、丈夫な体をつくっていく。また、より良い生活に必要な基本的生活習慣が身につくよう低年齢からの継続した取り組みを行っていく。

○豊かな人間性の育成

0～5歳児までの6年間の成長発達を捉えた全体計画をもとに、一人一人に即した支援や、それぞれの学年の育ちに即した保育をする。安心感を基盤に豊かな心情や思考力の芽生えを培い、主体性のあるこどもの育成をめざす。

○信頼される保育園

地域のひと・もの・こととの出会いを大切にし、保護者や地域の方々の協力を得ながらいろいろな人とのかかわりや多様な体験を通して故郷を愛し、しなやかに生き抜く力をもったこどもの育成をめざす。また、地域に親しまれる保育園になるよう努める。

2. 園児数

(1) 定員数 90名

(2) 年齢別園児数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
令和6年4月1日	1	13	17	19	12	17	79
令和7年3月31日	9	15	16	19	12	17	88

3. 職員体制

職員25名（正職15名）

- ・園長
- ・主任保育士
- ・保育士15名
- ・子育て支援員1名
- ・看護師2名
- ・栄養士3名
- ・調理師1名
- ・事務員1名

嘱託医1名

嘱託歯科医1名

4. 健康支援と安全

◎健康支援

- ・感染予防のための衛生管理の徹底を行った。新型コロナウイルス感染症は園内で広がることはなかったが12月にインフルエンザが流行し、12月末にかけては胃腸炎の症状で早退や欠席するこどもが増えた為、衛生面への配慮をさらに徹底して行った。
- ・保健指導として、「看護師さんの話」の日を設け、3～5歳児対象に健康な生活を意識できるようにした。感染症対策（手洗い、咳エチケット、マスクについて）、熱中症予防、基本的生活習慣、ケガや体の話（歯、目）、いのち（誕生）の話、プライベートゾーン等
- ・欠席状況、感染症発生状況を確認し、保護者に情報提供（掲示や保健便り）をした。
- ・個々の成長及び健康管理を行い、成長曲線を作成し保護者と共通理解を図った。
- ・基本的生活習慣の確立のため、かもめっこ元気モリモリ大作戦（年3回、6月、11月、2月）を実施した。今年度は起きる時間、メディア時間を各家庭で決めたことで、こどもたち自身がより意識して取り組めた。この期間は保護者とこどもがメディアを意識して取り組めた。
- ・嘱託医による健診（内科：9月、3月 歯科：6月）を実施した。

◎安全管理

- ・事故発生時の対応、防災対策、安全管理等に関するマニュアルを全職員が確認し、危機的状況が発生した場合にはそれに従って素早く体制がとれるように、事例をもとにシミュレーションを行った。今年度は新たにエビペン研修を取り入れた。
 - ・園舎内外の安全点検、危険個所の改善、災害発生時の訓練を行うなど安全対策に努めた。
 - 安全点検（毎月）を実施し、修繕箇所は速やかに対応した。
 - ヒヤリハットによる安全対策の重視と共通理解（随時）を図った。
 - 災害時等想定避難訓練を毎月実施した。
 - 火 災：4月、5月、8月、10月（消防署来園）、3月
 - 地 震：9月、11月、2月
 - 風水害：6月 雪害：12月
 - 不審者対応訓練：7月、1月（警察署来園）
 - 交通安全教室 5月（大東駐在所さんの指導）9月（職員による指導）
 - 非常食の備蓄と管理をした。
- ※10月の消防署の指導（職員の消火訓練）により、火災発見から避難までの対応について再確認することができた。

◎食育の推進

- ・地産地消を積極的に取り入れ、旬の食材を使った米飯を中心とした食事、子どもたちが「心身ともに健やかに成長し、おいしく食べられる安心、安全な手づくり給食」を提供した。
- ・アレルギーのある子どもに対しては、完全除去食を提供した。保護者と情報共有し、一人一人の状態に合わせ、栄養士と看護師、保育士の連携のもと適切に対応した。
- ・園生活の中で「食」への興味関心をもち、より良い食生活の習慣が身につくように年間食育計画を作成し、日々の食事や行事食に活かした。

《食育のつどい》

3～5歳児を対象に実施（毎月）した。（給食室を知る、マナー、元気な体をつくる食べ物、よく噛んで食べる、飲み物について、元気なうんち、食べ物の働きを知る、感謝して食べる等）その内容を掲示版やHPで知らせたり、給食便りでレシピなど発信したりした。

《行事食、郷土料理、絵本献立、なかよし給食（アレルギー食品を使用しない）等》

伝統料理を調べたり新メニューを取り入れたりして子どもたちの「食」への興味関心を促した。

《栽培物のクッキング》

調理と保育の立場から検討し、クッキングを実施した。

5. 子育て支援

◎園開放

- ・地域の子育て支援として、毎週金曜日を園開放デーとし、希望者には給食を提供した。その機会に子育ての相談や食育相談（離乳食の進め方）等を受けた。

◎一時預かり

- ・市内の保育施設に入園されていないお子さんを、月12日以内の利用で育児支援を行った。就労のための利用や急な保育が必要となり利用される方に対応した。

◎延長保育

- ・仕事等により時間内に迎えに来られない場合、園で預かった。短時間保育のお子さんの利用が増えた。

（標準時間保育：18:30~19:00 短時間保育：7:30~8:30 16:30~18:30）

6. 保護者との連携

- ・日々の送迎時や連絡ノート、個人面談やクラス懇談会等で保護者の思いや悩みを出せるように笑顔で挨拶したり声をかけたりするよう心がけ、信頼関係を構築できるように努めた。コロナ禍の時に比べ、職員との会話の時間が増えただけでなく、保護者同士の会話の時間が増えた。
- ・自由参加型の保育公開日を月1回（4、10、2月無し）設け、保護者が保育園に来て子どもの様子を見たり一緒に遊んだりできるようにした。今年度より、コンサートを開催したり、クラスによっては事前に活動内容を知らせたりして、園やクラスでの取り組みを伝えられるようにした。希望があれば給食の試食ができるようにした。5月は21人、他の月（3月までは2~12人で、父母、祖父母の参加があった。父母が一緒に参加が増えた。
- ・園便り、かもめっこ便り（園長だより）、クラスだより、保健だより、給食だより、HP等、各自の専門性を活かした情報発信や保育方針に基づいた保育の様子を伝えるように努めた。また、Instagramを活用し園の様子が伝わるように努めた。今年度より、動画配信の予定としている為、ICT化に向けての職員研修を行った。
- ・PTA活動は評議員さんを中心に内容や方法を検討し、実施に向けて企画した。
 - 夏祭り…保護者参加とし、飲食は無しで実施した。
 - 運動会…3・4・5歳児対象に園庭で実施した。0・1・2歳児はクラス別に保育公開日を設け、親子でのふれあい遊びを実施した。
 - 子育て講演会…クラス別に実施し、講師を招いて年齢に応じたお話をしてもらった。
 - おやつ試食…子育て講話に合わせて、こどもと一緒におやつを食べてもらった。
 - 環境整備作業…7/20、9/21 実施の予定だったが、天候不良の為、期間を設けて作業をしてもらった。
- ・年度末に園運営についてのアンケートをとり、その結果を踏まえ保護者の要望に対する改善努力を図った。

7. 職員の資質向上

職員の資質向上のため年間研修計画を作成し、研修の実施及び研修の機会を確保した。研修後は復命により全職員の共通理解を図った。

◎園外研修

- ・県・市・社協等主催の研修（キャリアアップ研修等）
- ・県保育協議会の研修、雲南保育協議会の保育公開や研修等

◎園内研修

- ・愛耕福祉会主催の研修（人権研修、AED研修、あいサポーター研修、女性特有の健康課題研修、ヤクルト研修）
- ・講師を招いての園内研究会
- ・エピソード研修

※職員の自ら学びたいという意欲を大切にし、受けたい研修を決めてもらった。

8. 他園・小学校等との連携

◎他園との交流

- ・大東保育園、みなみかも保育園との交流（5歳児）
ふるさと尺の内公園で遊ぶ。
- ・佐世幼稚園との交流（5歳児）
- ・大東中校区7園での交流（5歳児）
大東公園体育館で運動遊びをする。

◎小学校との交流

- ・阿用、佐世、西、大東、海潮、加茂小学生との交流は学校によって1日入学に合わせて計画されているところがあった。
- ※小学校より5歳児の様子を見学するために来園。
- ※阿用小学校長による毎月の絵本の読み聞かせ、阿用小学校見学（5歳児）

◎中学生との交流

- ・ボランティア（夏祭りの手伝い）…大東中学生4名
- ・夢発見ウィーク（職場体験）…大東中学生3名
- ・夢発見ボランティア…大東中学生（12月…3名）

◎高校生との交流

- ・ボランティア（夏祭りの手伝い）…大東高校生6名
- ・スペシャルチャレンジ…大東高校生2名

◎大東中学校校区保・幼・こ・小・中学校の一貫教育推進

- 「心豊かでたくましく生きる力をもった子どもの育成」のために連携を図った。
- ・保幼こ管理職連絡会に参加（7/17）
- ・東部ブロック園長・校長会に参加（10/8 2/10）
- ・大東中学校区学校運営協議会に参加（7/5 2/25）
- ・大東中学校のテスト期間に実施されるメディアコントロールウィークの取り組みに合わせて、『かもめっこ元気モリモリ大作戦』週間を実施した。（6月、11月、2月）

9. 地域との連携

地域の伝統文化の継承、地域の方との交流活動を推進した。

- ・飯田寿会さんとの交流…芋苗植え、芋ほり、焼き芋会
- ・アヨ有機農法塾さんとの交流…餅つき（1月）
- ・野菜作りの名人さんとの交流…野菜作りの相談、畑の見学（12月）
- ・米農家さんとの交流…米ができるまでのお話を聞く。
- ・WoodPartyさんによるワークショップ…修了記念品（スプーン）作り（2月）
- ・地域での体験（柿採りや田んぼ、用水路での遊び）をさせていただいた。
- ・大東よいとこ祭りに参加（4、5歳児）
- ・JAしまね大東支部銭太鼓グループさんとの交流（1月）
- ・加多神社節分祭に希望者のみ親子で参加（5歳児）

10. 保育に関する評価

◎園評価

園の保育目標から取り組み内容をクラス毎に評価し、保護者のアンケート結果（2月下旬）と合わせて園全体の評価を行い、それを次年度に活かせるようにした。

◎自己評価

昨年度の振り返りから今年度の個人目標を明らかにし、評価を行った。評価項目に基づいて年2回、自己評価を実施し、自己評価を踏まえ園長との面談を行い、更なるスキルアップに活かせるようにした。

令和6年度 雲南市立かもめ保育園 園児数の推移 (3月末時点)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4	3	13	17	19	12	17	81
5	3	14	17	19	12	17	82
6	3	14	17	19	12	17	82
7	4	14	17	19	12	17	83
8	4	14	17	19	12	17	83
9	4	14	16	19	12	17	82
10	6	14	16	19	12	17	84
11	7	15	16	19	12	17	86
12	7	15	16	19	12	17	86
1	7	15	16	19	12	17	86
2	7	15	16	19	12	17	86
3	9	15	16	19	12	17	88

令和6年度 雲南市立かもめ保育園 利用状況

延長保育			
月	登録者	利用日数	利用延べ人数
4	21	19	35
5	20	16	31
6	23	16	31
7	25	21	36
8	26	14	29
9	27	18	38
10	27	18	28
11	26	8	17
12	28	11	18
1	28	9	13
2	30	14	30
3	30	18	38
合計	30	182	344

一時保育		
月	開所日数	利用延べ人数
4	6	6
5	11	11
6	8	8
7	0	0
8	0	0
9	5	5
10	4	4
11	4	4
12	8	8
1	9	9
2	7	7
3	4	4
合計	66	66

土曜保育利用状況		
月	登録者数	利用延べ人数
4	29	58
5	29	51
6	29	78
7	29	57
8	29	65
9	28	64
10	28	50
11	28	58
12	25	39
1	25	43
2	25	42
3	24	59
合計	28	664

園開放実施状況		
月	利用日数	利用延べ人数
4	3	8
5	1	1
6	1	1
7	2	3
8	1	1
9	0	0
10	0	0
11	2	4
12	0	0
1	2	3
2	4	5
3	1	2
合計	17	28

令和6年度 職員研修参加表 (3月31日現在)

雲南市立かもめ保育園

雲南市子ども政策局	市幼・こ・保ブロック研修	その他の研修	社会福祉協議会	園内研修会	大東保育園研修会
運動遊びについて	Bブロック保育研修 (加茂こども園)	島根県中小企業家同友会 合同入社式&新人社員研修	保育士キャリアアップ研修 【障がい児保育】	1歳児 うさぎ組	2歳児(ぶどう組)
保育中の音楽遊びについて	Bブロック保育研修 (大東こども園)	島根県中小企業家同友会 新人社員フォローアップ研修	保育士キャリアアップ 研修【保健衛生・安全 対策】	2歳児 ばんだ組	1歳児(いちご組)
不適切保育と“こどもの権利”について	Bブロック保育研修 (掛合保育所)	しまね働く女性きらめき応援 奨励ステップアップ編	保育士キャリアアップ 研修【保護者支援・子育て 支援】	3歳児 こあら組	4歳児(ばなな組)
子どもの造形表現へのアプローチ	Bブロック保育研修 (かもめ保育園)	歯科保健事業者研修会	保育士キャリアアップ 研修【幼児教育】	4歳児 きりん組	5歳児(めろん組)
幼児期の気にかかると子どもの理解と支援	Bブロック保育研修 (斐伊こども園)	雲南圏域医療的ケア居の在宅 療養生活支援研修会	保育士キャリアアップ 研修【乳児保育】		
愛着(アタッチメント)形成に課題のある子どもとの理解と支援		くらしの何でも相談窓口 ネットワーク事業研修会			みなみかも保育園研修会
につっこりでの取り組みについて	県保育協議会研修	雲南市人権同和教育推進協議 会研修会			0歳児(ちゅうりっぷ 組)
もう一歩ふみ出そう～子どもにとって居心地の良い園・所にするために～	主任保育士・主幹保育 教師研修(WEB)	保育所における働き方改革 推進セミナー			2歳児(たんぼ組)
乳幼児期の心とかからだに必要な経験を考える	県協総会	学校給食会	島根県東部発達障害者支援 センターウィッシュユ		5歳児(ひまわり組)
雲南保育協議会研修	食育推進研修	しまね働く女性きらめき応 援塾講演	発達障がいと不登校・ ひきこもり		4歳児(つばき組)
療育を語る会	施設長研修会		早期支援体制作り研修 (Web)発達障害の早期気づ きと支援		
保健を語る会	保育者研修会		発達障がい支援フォー ラム	教育委員会	
調理担当者研修 「食べることに困難さがある子どもの理解と支援」				就学前人權教育講座	法人本部研修会
実技研修「絵本の読み聞かせ」				特別支援コーディネー ター研修	AED研修
実技研修「音楽遊び」				雲南市コミュニケーション・ス クール全体研修会	人權研修
保育士部会研修 「ヘルスケア」				特別支援教育説明会	女性特有の病気について
雲南Iブロック研修「日頃の保育を語る会」				中堅研修(幼児教育施設) (ZOOM)	職場のリーダーに求めら れる統率力の向上
調理担当者会研修 「衛生管理研修」				水泳プール安全管理講習 会	成果を上げるための業 務改善
				幼児期の運動遊び	ストレスチェック制度を 用いた職場環境改善と生 産性向上
					ハラスメント研修
					クレドプロジェクト

令和6年度 雲南市立かもめ保育園 主な行事

月 日	内 容	月 日	内 容
4 月		11 月	
3日	入園のつどい	1日	親子バス遠足(5歳児)
3日	第1回PTA評議員会	12日	サッカー教室(4・5歳児)
5 月		19日	焼いも
16日	交通安全教室(大東駐在所より来園)	20日	第2回元気モリモリ大作戦(24日まで)
17日	尿検査(3・4・5歳児)	27日	大東中校区7園5歳児交流会
22日	芋苗植え(飯田寿会さんと交流)	28日	子育て講話・クラス懇談会・ふれあい遊び・おやつ試食(0歳児)
6 月		29日	佐世神楽鑑賞会(4・5歳児)
11日	笹巻づくり	12 月	
5、26日	子育て講話・クラス懇談会・おやつ試食(5・3歳児)	2日	個人面談(3・4・5歳児 ～6日まで)
18日	歯みがき指導・染め出し(4・5歳児)	3日	阿用小学校見学(5歳児)
20日	歯科健診	4日	あそボール(4・5歳児)
22日	第1回元気モリモリ大作戦(26日まで)	9日	個人面談(2歳児 ～24日まで)
7 月		20日	クリスマス会
6日	子育て講話・クラス懇談会・おやつ試食(4歳児)	28日	保育納め
9日	プール開き	1 月	
12日	B&Gプール遊び(5歳児) 第2回PTA評議員会	4日	保育始め
18日	B&Gプール遊び・水辺の教室(4歳児)	7日	新春のつどい(JA銭太鼓グループさんとの交流)
20日	第1回環境整備作業 ※中止の為、期間内で草取り	16日	避難訓練(警察署より来園)
27日	第36回かもめ祭り	17日	味噌づくり(4歳児)
8 月		21日	サッカー教室(4歳児)
6日	子育て講話・クラス懇談会・おやつ試食(2歳児)	23日	餅つき(アヨ有機農法塾)
7日	かわこ広場川遊び(5歳児)	2 月	
13、14、15日	盆希望保育	2日	加多神社節分祭(5歳児)
23日	B&Gプール遊び(4歳児)	3日	節分のつどい
9 月		12日	第1回元気モリモリ大作戦(16日まで)
5日	内科健診	15日	かもめっこ発表会(3・4・5歳児)
9日	さくらおろち湖ダム遠足(5歳児)	18日	ぞう組修了記念品スプーンづくり(5歳児 Wood Party 錦織さんと)
17日	交通安全教室	21日	保育公開日・進級説明会(1歳児)
21日	第2回環境整備作業※中止の為、期間内で草取り	28日	保育公開日・進級説明会(2歳児)
27日	第3回PTA評議員会	3 月	
10 月		3日	PTA監査会
5日	親子運動会(3・4・5歳児)	5日	保育公開日・進級説明会(0歳児)
17日	わくわくうなんピック(3・4・5歳児)	6日	令和7年度新入児入園前説明会・継続児健康診断
13日	保育公開日・子育て講話(2歳児)	7日	第4回PTA評議員会
20日	よいとこ祭り(4・5歳児)	14日	5歳児おわかれパーティー
20日	芋ほり(飯田寿会さんと交流)	25日	令和6年度修了式
20日	芋ほり(飯田寿会さんと交流)	28日	保育修了・おわかれのつどい
29日	愛耕福祉会3園5歳児交流会	29、31日	年度末希望保育
30日	避難訓練(消防署より来園)	毎 月	
		☆誕生会 ☆保育公開・給食試食	
		☆発育測定 ☆看護師さんの話	
		☆弁当日 ☆食育のつどい	
		☆避難訓練(火災・地震・不審者他)	
		☆園開放デー(毎週金曜日 4月より実施)	

令和6年度 だいとう病児・病後児保育室 事業報告

1. はじめに

令和6年度は、「だいとう病児・病後児保育室」事業を雲南市より受託し7年目、「だいとう病後児保育室」より実質事業継続16年目となった。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行して2年、日常生活が戻ってきたように、乳幼児期に有益な免疫の獲得が少しずつできているように思う。利用者数は年間を通して継続的にあったが、稼働率と共に前年度より減少した。疾患の流行期に利用希望が重なるため、かもめ保育園の協力を得て職員を増員し対応することができた。システム導入に関しては、今年度は進展がみられなかったが、今後も雲南市と連携し取り組んでいきたい。

2. 利用者の実態・・・別紙資料参照

- ・今年度延べ利用者数は245名で、年間を通して継続的に利用があった。年間稼働率は63.1%だった。4月初旬は感染性胃腸炎、7月には溶連菌感染症やアデノウイルス感染症での利用が多かった。8月中旬から10月にかけて手足口病の流行があり利用希望者が急増した。

- ・今年度利用不可人数は35名で前年度より減少した。感染症の流行時は利用希望が集中し定員を超える希望がある場合、他施設に紹介するケースもあったが、病児の受け入れはつくしだけなので紹介できないケースもあった。1日で最大3名の利用を断る時もあった。また、職員体制が整わず、受け入れ出来ない時もあった。日々の利用数は感染流行の状況に左右されるため、事前に予測することが難しく予約システム導入時の課題でもある。現状予約希望があってから人員を確認する状況のため、事前に予約受付可能人数を把握することが必要となってくる。

また利用当日の朝予約をキャンセルするケースが103件あり、昨年とほぼ同数であった。また、キャンセルの連絡がないケースもあった。予約が3名以上の場合は職員を増員し準備しているため、当日キャンセルを減らすための対策が必要である。予約システムの導入は当日のキャンセルの課題の解決や利用不可数を減らすことにも繋がる方法であり、今後の導入に期待がかかる。

- ・利用者の病児・病後児の割合は病児34%、病後児66%で、昨年と比較するとほぼ変わらない。

- ・隔離と隔離不要の割合は、隔離不要が隔離のおよそ2倍となった。隔離は基本的に医師連絡票の記載通りに実施しているが、できるだけ多くの方に利用していただくため、雲南市立病院小児科医の指導のもと同一疾患は同室で保育する場合がある。また隔離不要であっても、溶連菌感染症やアデノウイルス感染症等の疾患は隔離を行った。

- ・利用者の居住地は大東町、加茂町がやや減少し、三刀屋町の利用が増加した。また市外

からの利用も大幅に増加した。これは保護者の雲南市へ勤務する児童の利用が増加したことによる。

- ・利用者の年齢は0歳児が約6.6%、1歳児が約46.9%と昨年と比べて0歳児が増加した。特に始業時期から夏場にかけて、また、気温等の変化により0歳児と1歳児育休明けの児童の利用が多く、所属施設で感染症に続けて罹患し利用するケースが多かった。

- ・利用の多い疾患は上気道炎で気管支炎や喘息性気管支炎等の呼吸器疾患を含めると全体の59%だった。全国的にインフルエンザの流行がみられた。当施設ではインフルエンザの児童の利用を解熱後に制限していることから、今年度の利用者数は7名だった。春先と冬場に感染性胃腸炎が流行、夏場には手足口病が流行した。他にも新型コロナウイルス感染症、アデノウイルス感染症、溶連菌感染症も流行が見られた。

また今年度も発熱の利用があり、はっきりと原因が分からず利用されるケースがあった。発熱後すぐの利用は疾患が特定されないことがあり、検査も個人の判断に委ねられていることから、より注意深く対応する必要があった。

- ・利用者の所属先は大東保育園が一番多く、みなみかも保育園、四つ葉学園保育所が増加し、かもめ保育園、加茂こども園、あおぞら保育園は減少した。

- ・利用者数は延べ245名にうち、利用実人数56名、世帯数は50世帯だった。利用回数の多い児童は25回にのぼり、同じ児童での利用が多かった。利用実人数と世帯数は減少した。

- ・定員4名のところ、1名または2名の利用が全体の86%、3名利用が16日、4名利用が5日で全体の14%となった。

3. 今年度の活動

- ・利用者一人ひとりに合った個別保育を行い、ほとんどの児童が無事回復への経過をたどった。高熱持続により途中で保護者に連絡を要するケースが14件あった。状態報告時に、受診を勧めたケースは2件。なかには、高熱により帰宅後、熱性けいれんを起こしたり、受診後入院となったりしたケースもあった。つくしでは発熱時に頓服の使用ができるため、保護者にその旨を伝え薬の準備をしてもらうことも対応の1つだと思う。

協力医療機関の雲南市立病院は、併設されている施設と異なり病状悪化時にすぐに受診できる環境にないため、子どもの病状は急変しやすいことを考慮すると早めの対応と相談できる指導医の存在が必要と考える。

また病状の急変に備え予定していたAEDを、本年度早々に設置した。けいれん時や非常時のマニュアルを見直し、緊急時に落ち着いて対応できるように備えたが、今年度急変や事故により緊急の対応が求められるケースはなかった。

- ・利用者数の増加に伴い第3保育室の使用頻度が増し、サッシも透明で道路から中の様子が見えるため、窓用目隠しフィルムを使用し環境を整えた。

- ・新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したが、マスクの着用・手洗い手指消毒の励行・室内アルコール消毒・定期的な換気・玩具の消毒や洗浄などの感染対策は継続し

た。感染性胃腸炎や手足口病、咽頭結膜熱等はアルコール消毒が効きにくいいため、次亜塩素酸ナトリウムでの消毒を徹底し実施した。

また雲南市こども政策課と連携をとり、5類感染症に移行した新型コロナウイルス感染症の診断を受けた場合は自宅待機となることから施設を利用できないが、今後変更になる可能性もある。

- ・保護者との連携強化や感染症情報の発信、広報的な役割も果たせるように「つくしだより」を作成した。日頃保護者の方々に伝えたいこととお便りにすることで、つくしをより知ってもらう機会となった。一方で入退室は慌ただしく手に取ってもらう機会が少なく課題が残った。

- ・職員が共通の対応を実施できるように「つくしマニュアル」を適時見直した。食物アレルギーの児童や服薬のある児童に対し、マニュアルに沿って対応し、今年誤食・誤薬の事故はなかった。

また後期食のおやつはつくしで購入し提供するため、提供に際しては保護者への確認など十分配慮して実施した。

- ・事故発生時、火災発生時、災害時等の対応を周知した。

- ・非常用袋については定期的に点検を実施し補充や交換をした。

- ・今年度も連携病院である雲南市立病院の小児科瀬島医師を訪問し、つくしの現状報告と課題について相談した、連携を深める意味でも今後も訪問を継続していきたい。

- ・予約システムについて保護者からの希望が多く、雲南市でも予約システムの導入を検討中だが、予算的なこともあり今年度進展は見られなかった。

4. 今後の課題と対策

- ・他園等に「つくし」を広く認知してもらうための取り組みを継続する。

- ・利用不可を減らすための取り組みを継続し、他施設との連携を強化する。

- ・保育室の環境を整え人員を確保し、隔離が必要な児童への対応を徹底し二次感染を予防する。

- ・「つくしマニュアル」を適宜見直しし、充実させる。

- ・協力医療機関である雲南市立病院との連携体制を強化する。

- ・定期的にアンケートを実施し利用者の満足度やニーズを把握し、課題を改善する。3年ごとに実施を予定し、次回は令和7年である。

- ・予約システムの導入について検討する。

- ・個別的な病児保育を実践するために職員のスキルアップを図る。

以 上

令和6年度 だいとう病児・病後児保育室事業報告 資料

①利用月別人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	24	16	17	30	17	33	20	13	25	16	23	11	245
(給食有人数)	20	16	16	30	17	28	19	12	22	14	17	11	221
利用不可人数	5	1	0	5	2	8	2	0	4	1	2	5	35
稼働率[%]	61.1%	42.8%	60.0%	63.3%	61.1%	78.9%	59.1%	55.0%	73.7%	57.9%	94.4%	50.0%	63.1%
月平均 利用者数 20名													
稼働日													稼働日
													234日
													利用実日数
													147日

②利用不可人数の推移

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用不可人[名]	85	76	18	10	3	29	45	52	35
定員2名									
定員4名									

③登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数	58	18	17	9	6	10	1	8	13	3	6	6	155

④年度毎登録人数・利用人数の推移

	H21年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
登録人数	63	*①	79	79	149	134	162	156	107	154	172	171
利用人数	77	210	224	273	196	304	258	147	270	347	351	245
*①は 病後児 保育所 開設 三刀屋 「たんぽぽ」 開所 病児・病後児 保育室 開設												

⑤利用者の病児・病後児の区分

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
病児	8	9	9	4	3	12	13	9	2	4	7	4	84	34.3%
病後児	16	7	8	26	14	21	7	4	23	12	16	7	161	65.7%
隔離	7	4	4	8	6	10	8	6	10	6	7	1	77	31.4%
隔離不要	17	12	13	22	11	23	12	7	15	10	16	10	168	68.6%

⑥利用者住居別人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
大東	12	4	8	19	4	10	5	4	8	11	9	2	96	39.2%
木次	6	0	2	0	3	5	4	0	8	4	9	0	41	16.7%
加茂	4	4	3	6	3	8	3	6	2	0	2	2	43	17.5%
三刀屋	2	2	3	3	2	7	3	0	3	0	1	3	29	11.8%
出雲市	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	2	1	7	2.9%
松江市	0	0	0	1	3	3	3	3	0	1	0	0	14	5.7%
奥出雲	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2.9%
吉田	0	0	0	1	2	0	2	0	0	0	0	3	8	3.3%
合計	24	16	17	30	17	33	20	13	25	16	23	11	245	100%

⑦年齢別利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
0歳	5	1	0	0	0	2	0	0	1	0	6	1	16	6.6%
1歳	9	6	12	18	14	16	12	8	6	9	2	3	115	46.9%
2歳	5	3	3	2	1	3	1	1	11	2	6	4	42	17.1%
3歳	0	0	2	6	2	9	7	4	0	3	2	3	38	15.5%
4歳	2	2	0	1	0	0	0	0	3	0	3	0	11	4.5%
5歳	3	4	0	3	0	0	0	0	1	1	2	0	14	5.7%
6歳	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	4	1.7%
7歳	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3	1.2%
8歳	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0.8%
9歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
10歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	24	16	17	30	17	33	20	13	25	16	23	11	245	100%

⑧利用者の多い病名・病状

病状	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
上気道炎	6	7	6	9	5	6	7	10	9	3	12	4	84	34.3%
上気道炎(ヒトメタニューモ感染)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	4	1.6%
気管支炎・肺炎	6	0	5	6	1	3	2	0	3	2	1	3	32	13.1%
喘息・喘息性気管支炎	2	1	2	3	2	3	2	0	3	3	2	2	25	10.2%
感染性胃腸炎	7	7	2	1	2	1	4	1	4	1	4	1	35	14.3%
RSウイルス感染症	0	1	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	5	2.0%
中耳炎	0	0	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	5	2.0%
インフルエンザ	1	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	7	2.9%
手足口病	0	0	0	0	3	10	4	1	0	0	0	0	18	7.4%
アデノウイルス感染症	0	0	0	6	1	0	0	0	1	2	0	0	10	4.1%
突発性発疹	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.4%
細菌性結膜炎	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0.8%
溶連菌感染症	0	0	0	3	0	0	0	0	2	0	0	0	5	2.0%
発熱	2	0	0	1	0	5	0	1	0	0	2	0	11	4.5%
嘔吐	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.4%
合計	24	16	17	30	17	33	20	13	25	16	23	11	245	100%

⑨利用者所属保育園・こども園・小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
かもめ保育園	3	2	1	3	0	3	5	0	3	2	2	2	26	10.6%
大東保育園	9	2	6	21	4	6	3	4	4	10	3	2	74	30.2%
あおぞら保育園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0.8%
みなみかも保育園	6	4	1	2	6	7	2	7	2	0	0	0	37	15.1%
加茂こども園	0	0	2	0	0	2	1	2	0	0	2	0	9	3.7%
三刀屋保育所	0	2	0	0	0	5	0	0	2	0	0	0	9	3.7%
木次こども園	2	0	2	0	2	3	0	0	6	2	4	0	21	8.6%
四つ葉学園保育所	0	0	3	4	4	4	5	0	0	0	1	6	27	11.0%
斐伊保育所	4	0	1	0	1	0	4	0	1	1	3	0	15	6.1%
一の谷保育園	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	4	1.6%
布勢幼児園	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2.9%
ニチキッズ雲南木次	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	4	0	7	2.9%
加茂小学校	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0.8%
阿用小学校	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	4	1.6%
三刀屋小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.4%
合計	24	16	17	30	17	33	20	13	25	16	23	11	245	100%

⑩利用回数別人数・利用実人数

利用回数	人数	利用回数	人数	利用回数	人数
1回	14	7回	2	25回	1
2回	11	8回	3		
3回	8	10回	1		
4回	7	11回	2		
5回	1	16回	1		
6回	4	17回	1		

利用実人数
56名
50世帯

⑪利用受入人数別日数・利用実日数

受入人数	日数	%
1人	76	51.7%
2人	50	34.0%
3人	16	10.9%
4人	5	3.4%

当日キャンセル 103件
保護者連絡 14件

令和6年度 雲南市立大東保育園事業報告

1. 保育理念・保育目標・保育方針

【保育理念】

- 子ども一人一人の育ちを支え、保護者と連携を図りながら信頼関係を深め、地域に愛される保育園をめざす。
- 養護と教育を一体的に行う保育園をめざす。

【保育目標】

『豊かな心を持ち、たくましく生活していく子どもの育成』

<めざす子ども像>

- 明るく元気な子ども
- 友達を大切にし、思いやりのある子ども
- 自ら考え行動する子ども
- 最後まで根気よく取り組む子ども

【保育方針】

- しなやかで豊かな人間性の育成
0～5歳児までの6年間の成長発達をとらえた保育課程を基に一人一人に即した支援や、直接体験、感動体験を大切にした保育を通して、豊かな心情や思考力の芽生えを培い、心身共にしなやかで自主性のある子どもの育成をめざす。
- たくましい身体の育成
地域の自然環境に親しみ、身体をしっかりと使って遊べる保育を展開していく。生活リズムを整え、たくさん食べて、丈夫な身体を作っていくように保護者と連携していく。また、子ども一人ひとりの育ちに配慮した養育・保育・教育を推進し、日々の生活や活動に充実感がもてるように努める。
- 信頼される保育園
地域の人・もの・こととの出会いの機会を大切にし、保護者、地域の方々の協力を得ながら、いろいろな人とかかわりや多様な体験を通して、故郷を愛し、しなやかに生き抜く力を持った子どもの育成をめざす。また、地域の中で親しまれる保育園になるよう努める。

【めざす職員像】

『心の根っこを育む職員』

- 子どもの心情に寄り添い、主体的に生活するための手立てをする。
- 子ども成長を仲間や保護者と喜び合い、一人一人の子どもの明日を語り合う。
- 明るく感性豊かに子どもと向き合い主体的に行動する。
- 色々な機会を捉えて自己研鑽に努め、広い視野と質の高い専門性を備えた自分を創っていく。

○保育士・看護師・栄養士・調理師・事務員それぞれが個々の専門性を生かし、協力し、認め合い、信頼し、人間性を高め合う。

2. 園児数

(1) 定員数 135名

(2) 年齢別園児数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
令和6年4月1日	5	20	21	24	20	23	113
令和7年3月31日	19	21	22	23	20	23	128

3. 職員体制（3月末）

(1) 大東保育園

職員30名（正職20名）

- ・園長1名 ・主任保育士1名 ・副主任3名 ・保育士17名（内2名5月より産休）
- ・看護師1名 ・調理担当者4名
- ・保育補助2名 ・事務1名

※嘱託医1名 嘱託歯科医1名

(2) ファミリーサポートセンター本部

アドバイザー1名

4. 健康支援及び安全

(1) 健康支援

☆看護師の専門性を活かした園児の健康増進や安全に対する取り組みを進めた。

- ①欠席状況や感染症発生状況の把握、園児の体調確認、与薬表の確認と与薬、保護者に速やかな情報提供（毎日玄関に情報を掲示）等、確実にスピーディーに行うよう体制を整えた。
- ②感染症拡大予防（換気、消毒等）の習慣化に向け、年間をとして職員に指導した。
- ③個々の成長及び健康管理（毎月）を行った。
- ④学校のテスト期間に合わせ、「元気モリモリ大作戦」を行い、基本的な生活習慣の確立をめざした。パーフェクト達成の子どもには賞状を渡す等、楽しく意識付けできるよう工夫した。
- ⑤嘱託医による健診（内科…9月・3月 歯科…6月）を行った。
- ⑥毎月保健だよりを配信したり、保育公開時には保護者向けに保健指導を実施したりした。
- ⑦職員…毎日の愛耕体操、体力測定とアドバイス、ストレスチェック、研修会等実施した。
- ⑧園児…3～5歳児対象に「看護師さんの話」を実施した。

早寝 早起き朝 ごはん	手洗いに ついて	メディア について	熱中症に ついて	赤ちゃん のお話	よく噛ん で食べよ う	元気もり もり大作 戦につい て	1年の振 り返し
-------------------	-------------	--------------	-------------	-------------	-------------------	---------------------------	-------------

(2) 安全管理

☆事故発生時の対応・防災対策・安全管理等に関する研修会に積極的に参加し、危機的状況が発生した場合には、それに沿って素早く体制がとれるように安全衛生部が中心となって環境の整備等

に取り組んだ。

☆園内外の安全点検・危険個所の改善・災害発生時の訓練等を行うなど安全対策に努めた。

①災害時想定避難訓練の実施（毎月）

②交通安全教室（年2回） 不審者対応訓練（年2回）

③安全衛生部が主体となり、事故を未然に防ぐための安全お守りシートの活用をした。また、熱性けいれんや嘔吐処理等の職員研修を行い、迅速な対応ができるよう努めた。

④環境整備部が主体となり、安全に遊べるよう園庭の環境を整えた。

（3）食育の推進

☆食育計画に基づき、地産地消を主とした安心安全な食材を活かした献立の工夫と食事の提供をした。

☆アレルギーのある子どもに対しては、完全除去食を提供し保護者と情報交換を密にしながら、調理担当者・看護師・保育士が連携して適切な対応をした。また、週1回仲良し給食を取り入れ、“誰もが楽しい食事”を実現した。

☆栽培活動やクッキング、「食育のつどい」等を通して食への関心を高めた。

①「食育のつどい」…3，4，5歳児対象（毎月）

正しい姿勢で食べよう	よく噛んで食べよう	良いウンチを出そう	野菜当てクイズ	お米について知ろう	だしを作ろう	冬野菜を使ってクッキング	畑の大豆で豆腐作り	振り返りすごろく
------------	-----------	-----------	---------	-----------	--------	--------------	-----------	----------

②クラスごと、発達に応じた野菜を栽培し、収穫やクッキングをして食への興味を引き出す環境を整えた。しかし、食中毒や誤嚥等の事故防止の観点から園庭で実ったぶどうはおうちで食べていただいたり、畑の野菜は給食室で消毒した後にクッキングしたりをする等、保健所の指導の下、園での食育のあり方は変化してきている。

③給食試食会を各クラス年1回行った。クラスごとの企画により、遊戯室で親子ゆったり食べたり、クラス活動や講演会と合わせたりして有意義な1日になるよう工夫した。

④調理室前に『野菜BOX』やその日のメニュー・食材に合わせた絵本を設置し、子ども達が自由にいつでも野菜に親しむ環境を作った。

また、日頃から玉ねぎの皮むきや薬物をちぎったりするお手伝いを通して食材に対する興味関心を引き出していけるようにした。

⑤食文化の継承（焼きサバ・笹巻き・焼き芋・餅つき等）を通して、地域の食文化に対する興味関心を引き出せるようにした。

⑥園と関わりのある地元の業者さんを『名人さん』とお呼びして交流をし、安心安全な食について関心を深めていった。（精米体験、野菜の収穫、干し大根、干し柿・豆腐作り等）

⑦環境整備・栽培部が主体となり、畑や花壇の管理について職員に発信し、年間を見通した環境の維持に努めた。

☆給食便りやホームページ、インスタグラム、動画配信、壁新聞等使い、保護者へ食について啓発した。

☆離乳食は5段階に分け、看護師、調理担当者、保育士、保護者が連携しながら個々の発達に応じて進めていった。

☆絵本献立やカミカミメニュー、誕生会メニュー等、子どもが食事を楽しみながら心と体の栄養になる献立づくりに努めた。

☆ぱくぱく部が中心となり、ぱくぱくミーティングを開き、調理と保育双方から献立や食育について検討し活かしていった。

5. 子育て支援

(1) 園開放

☆地域の子育て支援として、毎水曜日、園開放をし、希望者には給食を提供した。また、その機会に子育て相談・食育相談等を受けた。

(2) 一時預かり

☆市内の保育園に在籍していない乳幼児を、月12日以内の利用で育児支援を行った。

(3) 延長保育

☆仕事等により保育時間内に保育園に迎えに来られない場合、必要に応じて保育園で預かった。

・標準時間保育：18：30～19：00

・短時間保育：7：30～8：30 16：30～18：30

(4) 雲南市ファミリーサポートセンター（本部）

☆子育ての援助を受けたい人（依頼会員）と子育ての援助を行う人（援助会員）の登録手続きや会員募集、コーディネートを行い、子育て支援を行った。

☆木次、加茂、大東の連携や会員間の交流、研修会、会報の発行を行い、円滑な運営を進めた。

6. 保護者との連携

☆園長だより（毎月）・クラスだより（毎月）・保護者だより（随時）・保健だより（毎月）・食育だより（毎月）献立表（毎月）等、各自の専門性を活かした情報の発信に努めた。また、タイムリーに動画配信を実施し、子どもの様子等情報発信に努めた。

☆保護者の悩み等に応える内容になるよう、各クラスの子どもたちの年齢や発達に応じた講演会を実施した。

また、クラス活動を実施したことで保護者間の親交を深めたり集団の中の子ども同士の関りを見ていただいたりする機会になった。

クラス	講演会	親子活動
さくらんぼ組	ふるまい推進委員派遣事業 『ふれあい遊びと子育て講演会』	親子ふれあい遊び
いちご組	ヤクルト派遣事業 『便秘の話』	親子ふれあい遊び
ぶどう組	こども家庭支援課保健師派遣 『いやいや期の話』	あじさいロード親子散策
みかん組	雲南市ふるさとづくり講座 『子どもの食育について』	三成公園親子バス遠足
ばなな組	日本食生活協会事業 『親子の食育教室』	雲南消防署親子バス遠足
めろん組	島根県レクリエーション協会 『子ども元気アップ事業』	木次線でゴー！ 出雲科学館親子遠足

☆新しいこと、懸案事項等、事前にPTA役員に相談し理解を得たうえで保護者に伝えるようにする。また2月にはアンケートを実施し、保護者のニーズに応えるようにしていきたい。

☆クラス懇談会や個人面談を各クラス年2回以上設け、保護者さんとじっくり情報交換したり相談を受けたりし、一緒に子どもの育ちについて考える機会を持った。

☆0, 1歳児対象におむつと食事エプロンのサブスクの利用ができるようにしている。

☆近年の状況を踏まえて、PTA活動の見直しを随時していった。

- ・会則に慶弔規定を設けた。
- ・暑さが増してきている近年の状況を考え、今年度もこども祭りを1か月早めて6月に実施したり、プールの監視ボランティアに協力いただいたりした。
- ・今年度は4年ぶりにPTA総会を実施し、規約の改正の承認を得ることができた。
- ・今年の急激な物価高騰がPTA活動にも影響を及ぼしており、会費の見直しを最終の評議員会で検討する予定。

7. 職員の資質向上

☆研修計画に基づき、職員の研修の機会を確保した。研修後は復命書及び報告会により、他の職員に伝えて共通理解を図り、同じ意識をもって保育に取り組めるようにした。

☆各クラス園内研究会を行い、自分の保育を多面的に捉え保育の質を高めていった。

☆自主研修参加を認め、主体的に学ぼうとする職員の意欲を高めていった。

8. 他園・小学校等との連携

☆地域の人・もの・こととの出会いを大切にし、園以外の同世代の交流や異世代交流を深め、いろいろな人とのかかわりや多様な経験の機会を設けた。

(1) 他園との交流

- ①大東町内幼稚園・保育所（園）・こども園との7園交流
- ②かもめ保育園・みなみかも保育園との交流
- ③佐世幼稚園との交流

(2) 小学校との連携

- ①大東・阿用・佐世・西・海潮小学校区の園児と該当の小学校との交流
- ②各小学校教員の園訪問と交流
- ③大東小学校校長先生の読み聞かせ交流
- ④大東中学校区校長会との連携
- ⑤大東町中学校区保幼小施設長会の実施
- ⑥大東小学校で実施される生活習慣の取り組みに合わせ、メディアや早寝早起き朝ご飯等の生活リズムの意識づけのため『元気モリモリ大作戦』週間を実施。

(3) 中学生との交流

- ①夢発見ウィーク（職場体験）
- ②手作りおもちゃ・ふれあい活動（家庭科の授業の一環）
- ③大東中学校区校長会、コミュニティースクールとの連携

(4) 高校生との交流

- ①ふれあい活動（大東高校家庭科の授業の一環として）
- ②大東高校探求アワードを通しての交流

9. 祖父母、地域との連携

☆地域に根付いている伝統文化の継承、祖父母や地域の皆さんとの交流や支援を得て地域に根付いた活動を推進する。

- ①・祖父母との芋苗植えと芋ほり、焼き芋大会
 - ・食生活改善推進委員さんとの笹巻作り、親子クッキング
 - ・藤原鮮魚店さんとの焼きサバ交流
 - ・大東農産加工場さんとの餅つき大会
 - ・グリーンパワーうなんさんの木育活動
 - ・畑やコメ作りの名人さんとの収穫交流
 - ・吉田交流センターとの芋ほり交流（4，5歳児）
- ②大東七夕保存会さんより、大東七夕祭りの由来を聞き、スイカ提灯作りの指導を受ける。また、地域の方や保護者の協力を得て5歳児が神輿やスイカ提灯、七夕飾りを持って町内を歩いた。
- ③大東よいとこ祭りに参加（4，5歳児）
- ④加多神社節分祭に自由参加（5歳児）

10. 保育に関する評価

（1）園評価

- ①園の取り組みや評価項目を明確にし、職員の自己評価と保護者のアンケート結果から評価を行った。

（2）自己評価

- ①目標管理・評価シートにより園長年3回の面談を行い、各自今後の目標を明らかにしていった。また、年2回の自己評価を実施し、更なるスキルアップに活かせるようにした。

以 上

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
4	8	20	21	24	20	23	116
5	8	21	22	24	20	23	118
6	10	21	22	23	20	23	119
7	13	21	22	23	20	23	122
8	14	21	22	23	20	23	123
9	15	21	22	23	20	23	124
10	15	21	22	23	20	23	124
11	17	21	22	23	20	23	126
12	17	21	22	23	20	23	126
1	18	21	22	23	20	23	127
2	19	21	22	23	20	23	128
3	19	21	22	23	20	23	128

延長保育利用状況（ ）は前年度

月	登録者	利用延べ人数
4	16(19)	21(8)
5	22(21)	19(8)
6	26(26)	12(4)
7	30(30)	24(13)
8	34(31)	23(11)
9	36(34)	22(16)
10	37(34)	8(25)
11	37(42)	7(34)
12	37(42)	8(29)
1	38(48)	20(51)
2	38(50)	27(19)
3	38(51)	34(25)
合計	389(428)	225(243)

一時預かり保育利用状況（ ）は前年度

月	利用日数	利用延べ人数
4	0(0)	0(0)
5	0(2)	0(2)
6	0(5)	0(5)
7	0(7)	0(7)
8	1(8)	1(8)
9	0(7)	0(7)
10	0(6)	0(6)
11	4(10)	4(10)
12	4(5)	4(5)
1	5(9)	5(9)
2	2(6)	2(6)
3	0(12)	0(12)
合計	16(77)	16(77)

土曜保育利用状況（ ）は前年度

月	利用延べ人数
4	60(54)
5	53(42)
6	87(59)
7	74(67)
8	89(55)
9	75(46)
10	65(53)
11	67(54)
12	56(42)
1	46(48)
2	53(50)
3	73(51)
合計	798(621)

令和6年度 職員研修参加表 (3月末)

雲南市立大東保育園

雲南市子ども政策局		雲南保育協議会		島根県・厚生労働省		社会福祉協議会		園内研修	
管理職職夢発見プログラム研修	1名	療育を語る会	1名	発達障害基礎講座	3名	保育士キャリアアップ研修【食育・アレルギーマネジメント】	1名	1歳児園内研修	4名
音楽遊び研修	2名	保育士部会研修『ヘルスケア』	2名	運動遊び研修	1名	保育士キャリアアップ研修【保護者支援】	1名	3歳児園内研修	2名
cブロック研修三刀屋こ(7/9)	1名	読み聞かせ実技研修	2名	女性きらめき応援塾	1名	保育士キャリアアップ研修【幼児教育】	1名	かもめ5歳児園内研修	1名
大東支部人権研修(7/9)	1名	保育を語る会	2名	産保研修	1名	保育士キャリアアップ研修【マネジメント】	1名	5歳児園内研修	5名
愛着形成研修	4名	保健を語る会	1名	幼児教育推進研修	1名	保育士キャリアアップ研修【保育実践】	1名	2歳児園内研修	7名
不適切保育研修	1名	保育士部会研修	1名	食育研修	3名	居場所作り研修会	2名	不適切保育研修	全員
人権研修	全職員	児童発達支援研修	1名	人権研修	1名	身近何でも研修	1名	4歳児Cブロック研修	7名
人権同和研修	1名			主任保育士研修	1名			みなみかも園内研修	1名
Cブロック研修・斐伊	1名			親子読書研修	1名			0歳児園内研修	5名
特別支援研修	1名			学校保健研修	1名			野津T勉強会	22名
愛着形成研修	4名			歯科保健研修	1名			絵画研修	8名
音楽遊び研修	2名			児童発達支援研修	1名			1歳児園内研修	8名
運動遊び研修		その他		社会福祉法人愛耕福祉会					
コミュニケーションスキル全体研修	1名	安全衛生委員会研修	27名	社協研修会	1名	同友会新入社員研修	1名	水の事故防止研修	16名
連携・接統研修	2名	事務研修	1名	脳疾患事例研修	1名	あいさポーター研修	全職員	ポリテク研修(ストレス)	2名
乳幼児発達研修	2名	水辺の安全教室	5名	両立支援研修Ⅲ	1名	法人人権研修	全職員	女性きらめき応援塾	1名
		防火管理者講習	1名	メンタルヘルス研修	1名	ポリテク研修(業務改善)	3名	AED研修	全員
		両立支援研修Ⅰ	1名	医療ケア児研修	1名	ポリテク研修(リーダー)	2名	ヤクルト職員健康研修	全員
		両立支援研修Ⅱ	1名	産保研修	1名	ハラスメント研修	2名	嘔吐処理研修	9名

令和6年度 雲南市立大東保育園 年間行事

月	園行事	PTA行事	月	園行事	PTA行事		
4月	入園のつどい 交通安全教室	PTA評議員会・総会	11月	焼き芋大会(祖父母、地域交流) 元気モリモリ大作戦② 干し大根・干し柿づくり(5歳児) 消防車乗車・放水体験 ばなな組親子遠足 めろん組親子遠足 わくわくうなんんピック(3, 4, 5歳児)	さくらんぼ組講演会 いちご組講演会 ぶどう組講演会 ばなな組給食試食会		
5月	検尿(3, 4, 5歳児) 焼きサバの日(地域交流) 全クラスクラス懇談会 芋苗植え(祖父母交流)	PTA評議員会		12月	クリスマス会 クラス懇談会、個人面談 めろん組森の触れ合い活動 みかん組クラス懇談会	みかん組講演会 ばなな組講演会 さくらんぼ組給食試食会 めろん組個人面談 みかん組給食試食会	
6月	元気モリモリ大作戦① 歯科健診 クラス懇談会、個人面談 笹巻作り(食改さんとの交流)	環境整備作業 PTA評議員会 こども祭り			1月	餅つき	
7月	プール開き 起震車体験 みーもサマースクール(5歳児)	ばなな組個人面談 めろん組個人面談			2月	豆まきのつどい 元気モリモリ大作戦③ 生活発表会(3・4・5歳児) さくらんぼ・いちご・ぶどう組クラス懇談会 継続児内科健診	
8月	七夕行列(地域交流) 盆希望保育(13日～15日) B&Gプール体験(3, 4, 5歳児)		3月	保育公開(0・1・2歳児) ひな祭り会 お別れ会 入園前説明会 修了式 年度末希望保育		PTA監査会 環境整備作業 PTA評議員会	
9月	交通安全教室 みかん組親子遠足 内科健診	PTA評議員会 いちご組給食試食会 いちご組クラス活動 ばなな組クラス活動 さくらんぼ組クラス活動	毎日	一時預かり保育 延長保育			
	グリーンパワーうなんん交流 中学生職場体験学習 米農家さんとの交流 芋ほり遠足(地域交流)	PTA評議員会 環境整備作業 親子運動会 ぶどう組クラス活動 ぶどう組給食試食会 めろん組給食試食会 めろん組親子レク	毎月	誕生会 発育測定 弁当の日(6月～9月を除く) 安全点検 避難訓練 看護師さんの話 食育活動 保育園開放日(毎週)水曜日			
11月	大東町7園5歳児交流会 愛耕福祉会3園交流会						

令和6年度 雲南市ファミリーサポートセンター（大東本部）事業報告

1. 会員数（令和6年4月～令和7年3月まで）

※掛合支部は、市が把握している

	大東	木次	加茂	合計	前年度比
援助会員	27	30	26	83	0
両方会員	12	20	8	40	+3
依頼会員	81	188	48	317	+14
合計	120	238	82	440	+17
前年度比	+9	+10	-2	+17	

※ 大東・木次・加茂に分けてあるのは、どこが入会時の窓口（本部・支部）になったのかを明示するためであり、地区別の人数ではない。

2. 援助依頼の内容と利用件数（令和6年4月～令和7年3月まで）

※件数＝援助を行った会員の人数

送迎	依頼内容	大東	木次	加茂	合計
	自宅から保育園へ、又は保育園から自宅への送り	0	3	1	4
	保育園や放課後児童クラブから習い事への送り	92	1	0	93
	療育施設への送迎	44	43	0	87
	スポ少への送り	0	0	0	0
	小学校から自宅への送り	0	1	0	1
送 迎 件 数 合 計		136	48	1	185
預かり	依頼内容	大東	木次	加茂	合計
	就労や就活のための預かり	0	5	1	6
	通院や体調不良などのための預かり	0	8	3	11
	買い物等、家事や用事のための預かり	0	15	0	15
	リフレッシュ・休養のための預かり	5	18	4	22
	きょうだいの園や学校行事参加のための預かり	0	18	4	22
	会議や研修等のための預かり	0	5	0	5
	児童クラブでの預かり	63	0	0	63
	※ 送迎と預かり（仕事等のため）	0	2	0	2
預 か り 件 数 合 計（送迎と預かりを含む）		68	71	12	151
地 区 別 利 用 件 数 合 計		204	119	13	336
利 用 件 数 総 合 計		336 件			

R6年度は木次子育て支援センターが12月中旬から2月中旬まで閉所のため預かり件数が減っている。

3. 実利用人数 (月ごとの新たな利用会員数を記)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大東	5	0	0	7	2	0	0	0	1	1	0	1	17
木次	7	2	2	3	1	6	1	3	2	0	4	2	33
加茂	2	0	0	2	0	0	0	1	2	1	2	0	10
合計	14	2	2	12	3	6	1	4	5	2	6	3	60

4. 地区別の利用率と援助を提供する会員の実動率 (3月まで)

	依頼会員数	実利用人数	利用率	援助会員数	実動会員数	実動率
大東	81	13	16	27	8	29%
木次	187	26	13	30	13	43%
加茂	48	10	20	26	7	26%
合計	316	49	15	83	28	33

5. 預かりの場所別、利用件数 (3月まで)

預かりを行った場所	平日	土	日	祝	合計
木次子育て支援センター (木次支部)	50	11	2	0	63
加茂子育て支援センター (加茂支部)	8	4	0	0	12
援助会員の自宅	6	2	5	1	14
依頼会員の自宅	0	0	0	0	0
放課後児童クラブ (終了後のクラブの場)	63	0	0	0	63
送迎と預かり (援助会員自宅)	2	0	0	0	2
送迎と預かり (依頼会員自宅)	0	0	0	0	0

6. 預かりにおける、年齢別利用子どもの人数・利用件数・利用時間 (3月まで)

	年間利用総人数	利用件数	利用総時間
0歳	58	58	133.5
1歳	2	2	4.5
2歳	4	4	11.5
3歳	10	10	39.5
4歳	3	3	8
5歳	12	12	20
小学生	63	63	31.5
合計	152人	152件	248.5時間

7. 預かり平均時間（3月まで）

預かり時間合計＝ 248.5 時間

預かり利用件数合計＝ 152 件
（一人の子どもが複数回の利用あり）

預かりの平均時間＝ 1.63 時間

8. 令和6年度 講習会・交流会

○ 緊急救命講習会

（援助会員養成講習を兼ねる）

日時：令和6年5月27日（月）

10:30～11:30

【内容】

場所：斐伊交流センター プレイルーム

対象：実働援助会員・新規援助会員

講師：雲南消防本部 救急救命士

1. 心肺蘇生法の講義と実習

2. AED の使用方法

3. 気道異物の除去法

日時：令和6年10月9日（水）

9:30～10:30

【内容】

場所：斐伊交流センター プレイルーム

対象：実働援助会員・新規援助会員

講師：雲南消防本部 救急救命士

1. 熱中症の対応

2. 誤飲

3. 虫刺され

4. アレルギーの対応

5. 熱性けいれん

6. 質疑応答

○事故防止講習会

日時：令和6年7月24日（水）

9:30～11:00

【内容】

場所：斐伊交流センター

対象：実働援助会員・新規援助会員

講師：ファミサポスタッフ

1. 簡易 KYT 研修（危険予知訓練）

イラストを見て話し合う

2. 意見交換

○援助会員養成講習会 ①

日時：令和6年5月13日（月）

9:30～10:30

【内容】 「配慮を要する子どもへのかかわり方について」

場所：斐伊交流センター 図書室

対象：実働援助会員

講師：長澤幸子さん（すワンセンター長）

1. 講義

2. 送迎時又は預かり時の困りごと相談

○援助会員養成講習会 ②

日時：令和6年6月18日（火）

9：30～11：00

場所：斐伊交流センター

対象：実働援助会員・新規援助会員

講師：雲南市役所：助産師・保健師・栄養士

【内容】 「あかちゃんとかかわり方を学ぶ」

1. こども家庭センターについて
2. 育児講習会 栄養編
3. 育児講習会 育児編（人形を使っての実技：抱っこ・オムツ交換・服の着せ方）
4. 質疑応答

○情報交換会&お楽しみ会

日時：令和6年12月10日（火）

9：30～11：30

場所：斐伊交流センター

対象：実働援助会員

情報交換会：アドバイザーの進行

お楽しみ会講師：福田正恵さん

「情報交換会」

【内容】「1年間を振り返っての感想」

1. 援助活動をしての感想・意見等

「お楽しみ会」

【内容】

「福田先生から教わる抱っこの方法と身体ほぐし」

○ スタッフ研修会

日時：令和6年4月23日（火）

9：30～10：30

場所：斐伊交流センタープレイルーム

対象：ファミサポスタッフ

講師：長澤幸子さん（すわんセンター長）

【内容】

「配慮を要する子どもと保護者へのかかわり方」

1. 配慮を要する子どもの特性について
(ADHD・ASD・知的障害)
2. 意見交換

9. 援助活動（送迎・預かり）の実態

《送迎》

- ・R6年度は、5件の送迎依頼を受けていたが、その中でもさくら教室利用の依頼が多く、保健師や相談支援事業所からの依頼が増えた。

さくら教室に行く子どもには、保育士資格のある援助会員さんに声をかけているが、現状は難しく送迎を担当してくださる援助会員さんをお願いをした。

- ・さくら教室送迎児については、相談支援事業所が絡んでいるため、支援会議に参加してさくら教室や子どもが在籍している保育園の先生から配慮する点や園での様子などを聞くことができた。

さくら教室スタッフと連携を取り、さくら教室でできる対応を検討していただいたり、援助会員さんに直接、情報共有をし、理解していただいた上で対応できたように感じた。

援助会員さんは、送迎時の子どもさんの様子を丁寧に知らせてくださるので、安心して任せられ、ファミサポ本部としても援助会員さんにいつも感謝していた。

- ・さくら教室送迎依頼を両親がファミサポ本部に連絡され、送迎計画を作るケースもあったが、多くは、市の保健師さんや相談事業所さんからの依頼のため情報が入りずらく、援助会員さんとのマッチングも思うように進まず困ったケースもあった。
- ・援助を行う会員さん側もいつ始まるか分からない状態に戸惑われることもあったので、あいだに支援事業所さんも入ってくださっているが、ファミサポ本部としてはスムーズに顔合わせ・話し合いが行えるよう考えたい。
相談支援事業所からは、「〇〇なときはどんな対応をするか？」と細かく決めておく場があったが、送迎時の困り感も実際に送迎をしてみないとわからず、困りごとが出てから、その都度解決していたように思う。
- ・何件か送迎依頼があったが、うまくマッチングできず、保留になっているケースもある。
- ・送迎依頼は増えているが、送迎を受けてくださる援助会員さんが少ないため、近い距離の会員さんをマッチングすることが困難な状況である。（援助会員さんは、一人ではなく複数での援助を希望されることが多い）

<預かり>

- ・今年度も木次子育て支援センターでの預かりが多かったが、R7年12月から2月末までのあいだ、木次子育て支援センターが移転工事のため閉所していた関係で預かり件数が例年よりも減っている。
木次子育て支援センターが新しく建ちプレオープンをした日は、開所を待っていた利用者さんや利用してみたい方が多かったように感じた。
- ・支援センターでの預かりは、支援センタースタッフさんも近くにいる状況のため、安心して援助活動を行うことができました。との声も聞くことができた。また、支援センターの場合なら、預かりの活動してみたいという声もあり活動できる援助会員さんが増えた。
- ・長期間（連休中など）、長時間（8～10時間）の預かりの依頼は、対応できる援助会員さんが見つからず、お断りするケースもあった。

<全体として>

- ・援助会員さんの安全な援助活動に対する意識が高まってきて、講習会へもできるだけ都合をつけて参加いただいた。
- ・援助会員さんには、たくさんの研修会に参加してもらい、情報共有ができた。
- ・援助会員さんからの困り感を聞き、担当者会で話し合う議題にもなり、解決方法も見つけ、対処することができた。
- ・R6年度も支援センターでの預かりのマッチングは各支部にお願いし、顔合わせや面談もしてもらう。送迎に関するすべての対応は大東本部対応とする。
- ・「援助会員さんが自宅を出て、依頼のあった送迎を行い自宅に着くまでの移動距離」に対して、1ヶあたり24円の実費（ガソリン代）を依頼会員さんが支払うことになっていることについて、物価高騰のため、1ヶ24円の実費では金額が厳しいとの相談が援助会員さんからあった。

以 上

令和6年度 みなみかも保育園 事業報告

1 保育理念・保育目標・保育方針

【保育理念】

- 子ども一人一人の育ちを支え、保護者と連携を図りながら信頼関係を深め、地域に愛される保育園をめざす。
- 養護と教育を一体的に行う保育園をめざす。

【保育目標】

『豊かな心をもち、たくましく生活していく子どもの育成』

【めざす子ども像】 ※（）内は加茂町学校運営協議会がめざす子ども像

- 明るく元気な子ども（あいさつ）
- 友達を大切にし、思いやりのある子ども（ふるまい）
- ふるさとを愛する子ども（地域への愛着）
- 自ら考え行動し、最後まであきらめない子ども（主体的な学び）

【保育方針】

*しなやかで豊かな人間性の育成

0～5歳児までの6年間の成長発達をとらえた全体的な計画を基に、一人一人に即した支援、直接体験や感動体験を大切にした保育を通して、豊かな心情や思考力の芽生えを培い、心身共にしなやかで自主性のある子どもの育成をめざす。

*たくましい身体の育成

地域の自然環境に親しみ、身体をしっかりと使って遊べる保育を展開していく。生活リズムを整え、たくさん食べて、丈夫な身体をつくっていけるように保護者と連携していく。また、子ども一人一人の育ちに配慮した養護及び教育を一体的に行い、日々の生活や活動に充実感がもてるように努める。

*ふるさと（地域・自然）を愛する心の育成

地域の人・もの・こととの出会いの機会を大切にし、保護者、地域の方々の協力を得ながら多様な体験を通して、地域に親しみをもち、ふるさとを愛する心をもった子どもの育成をめざす。また、地域の中で親しまれる保育園になるよう努める。

2 園児数

(1) 定員数 60名

(2) 年齢別園児数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
令和6年4月1日	5	9	10	10	12	10	57
令和7年3月31日	11	10	12	10	12	10	65

3 職員体制

職員 20 名（正職 11 名）

- ・園長 ・主任保育士 ・保育士 13 名（産休 1 名 育休 1 名）
- ・栄養士 2 名 ・看護師 1 名 ・事務員 1 名 ・保育補助 1 名
- ＊嘱託医 1 名 嘱託歯科医 1 名

4 健康支援と安全

（1）健康支援

★看護師の専門性を活かした園児及び職員の健康管理や安全、衛生管理を行った。

★感染予防のための衛生管理を徹底した。

- ・園児への保健指導（「かんだしさんの話」…3、4、5 歳児対象）を行った。

1 月には助産師さんを招き、産休に入る職員と一緒に『いのちのおはなし』をした。赤ちゃんがおなかの中で大きくなる様子やたくさんの人に支えられて産まれてくること、家族みんなが喜んだことを伝える機会を設けた。

- ・個々の成長及び健康管理、欠席状況把握した。
- ・保護者への啓発（保健便りの発行・流行期の感染症発生状況の情報提供・健康相談）を行った。
- ・基本的生活習慣の確立に向けた支援（生活リズムについて家庭と連携する…年 3 回「元気モリモリ大作戦」 1～5 歳児対象）を行った。
- ・嘱託医による健診（内科…年 2 回、歯科…1 回）を実施した。

（2）安全管理

★事故発生時の対応、防災対策、安全管理等に関するマニュアルを全職員が確認し危機的状況が発生した場合には、それに沿って素早く体制がとれるようにした。

★園舎内外の安全点検、危険個所の改善、災害発生時の訓練等を行うなど安全対策に努めた。

- ・災害時想定（不審者対応含む）の避難訓練の実施（毎月）…雲南消防署、雲南警察署からの指導を受けた。
- ・交通安全教室…5 月、9 月に加茂駐在所より来ていただき指導を受けた。
- ・水辺の安全教室…6 月に 3、4、5 歳児対象に実施した。
- ・安全点検（毎月）を実施し、修繕箇所に対応した。築山が崩れたことで安全に子どもたちが遊べる場となるよう建設会社と相談し、対策をとった。
- ・ヒヤリハット、事故報告書による安全対策の重視と共通理解を図った。

（3）食育の推進

★地産地消を積極的に取り入れ、安心安全な食材を使った献立の工夫と食事の提供を行った。

また、保育士と連携しながら、園の畑で収穫した野菜を取り入れたり野菜の皮むきなどのお手伝いをしたりして子どもたちに「食材」への関心をもたせた。

★アレルギーのある子どもに対しては、保護者と連携して一人一人の状態に合わせた除去食の提供と栄養士・看護師・保育士が連携して適切な対応を行った。

★園生活の中で「食」への興味関心が高まるように工夫した。また、より良い食生活の習慣が身につくように年間食育計画を作成し、日々の食事や行事食に活かした。

- ・食育のつどい…もぐもぐタイムとして子どもたちに関心をもたせ、食育活動行った。
- ・調理担当者と保育士の連携をとり、栽培物のクッキングを行った。
- ・食文化の継承（よもぎ団子、笹巻き、焼き芋、餅つきなど）を実施し興味関心を促した。
- ・郷土料理、絵本献立、なかよし給食（アレルギー食品を使用しない）子どもからのリクエスト献立、また、保護者からのレシピを募集して、献立に活かした。
- ・食育部会を開き、調理と保育の立場から子どもたちへの「食」について検討し、保育や食育に活かした。
- ・0歳児保護者対象に、子どもの味覚を育てる講演会を実施した。
- ・給食献立、食育だより、ホームページ、Instagram、給食の玄関展示などで保護者へ食について啓発したりレシピなどを発信したりした。

5 子育て支援

（1）園開放

- ★毎日園開放を行い、地域の子育て支援として「開かれた保育園」「信頼できる保育園」となるよう努めた。入園を検討される方やすでに入園が決まっている方が利用された。また、加茂子育て支援センターと連携し、利用者（育休中の親子）を募って参加された。希望者には給食を提供し、子育て相談、食育相談などを受けた。

（2）一時預かり保育

- ★市内外の保育園に在籍していない乳幼児を、保護者の希望に添いながら基本毎日利用できるようにして育児支援を行った。里帰り出産で預ける方が増えた。
- ★子育て支援センターにもパンフレットを持っていき、情報発信をした。

（3）延長保育

- ★仕事等の都合により保育時間以外で需要がある場合は、必要に応じて保育園で子どもを預かった。（朝7：00～7：30、夕18：30～19：30）

6 保護者と連携

- ★送迎時や連絡帳などを利用し、園での様子を伝えたり、保護者の思いや悩みに共感したりした。また、笑顔で挨拶したり声掛けしたりするように心がけた。
- ★自由参観として保育公開日を設け、子どもたちの様子を見てもらったり給食を提供したりした。毎月、10名程度の参加者があった。
- ★園便り・園長便り（みなみかもっこだより）・クラス便り・保健便り・食育便り・献立表、ホームページ配信、動画配信、Instagramなど、各自の専門性を活かした情報の発信に努めた。
- ★PTA活動は評議員さんを中心に内容を検討し活動をすすめていった。人数制限なしですべての活動が実施できた。
- ★年度末に加茂町学校運営協議会と連携した園運営についてのアンケートをとり、その結果を踏まえ要望や意見に対する改善努力を図った。

7 職員の資質向上

- ★研修計画に基づき、職員の研修の機会を確保した。研修後は、復命書及び報告会により、他の職員に伝え共通理解を図り、同じ意識をもって保育に取り組めるようにした。

- ★各クラス園内研究会を行い指導講師のもと、自分の保育を多面的に捉え保育の資質を高めていった。
- ★自主研修参加を認め、主体的に学ぼうとする職員の意欲を高めていった。

8 他園・小学校等との連携

○人・もの・こととの出会いを大切にし、園以外の同世代の交流や異世代交流を深め、いろいろな人とのかかわりや多様な経験をする機会を設けた。

(1) 他園との交流

- ★愛耕福祉会の保育園との交流会を実施

(2) 小学校との連携

- ★加茂小学生との交流会を実施
- ★園児の該当地区（町外）の小学校と連携をとった。

(3) 中学生との交流

- ★夢発見ウィーク（職場体験）・夢発見ボランティアを通して交流した。

(4) 職員間の交流

- ★加茂地区保こ小中職員間で子どもを語る機会をもった。
夏休み期間に加茂小学校より5歳児の様子を見学、保育体験として数日間、入れ替わりで来られ交流した。
- ★園内研究会に参加してもらい、子ども理解の共有を図った。

9 地域との連携

○地域の伝統文化の継承、地域の方との交流活動を推進した。

- ★柿&芋同好会さんと交流した。（芋苗植え、芋ほり、焼き芋、柿とり、干し柿づくり、コスモス祭り）
- ★南加茂農事組合法人さんと交流した。（田植え体験、稲刈り体験）
- ★笹巻づくりを食生活改善推進員に教わりながら一緒に作った。
- ★新春のつどいを通して、地元の南加茂貴船神楽社中さんの神楽に親しんだ。
- ★餅つきの行事を通して、地域の方と交流した。
- ★地域のお祭りに参加し、4・5歳児が歌やダンスを披露した。
- ★組子細工を修了記念作品として5歳児が作成した。
- ★高齢者施設に訪問し、歌やダンスを披露した。

10 保育に関する評価

(1) 園評価

- ★園の保育目標から取り組み内容をクラス毎に評価し、保護者アンケート結果と合わせて園全体の評価を行った。（加茂町学校運営協議会の目標に合わせて評価）

(2) 自己評価

- ★目標管理・評価シートにより園長との面談を経て、各自今後の目標等を明らかにしていた。年2回自己評価を実施し、更なるスキルアップに活かせるようにした。

令和6年度 みなみかも保育園 園児数の推移（月末時点）

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4	7	9	11	10	12	10	59
5	6	8	11	10	12	10	57
6	6	8	12	10	12	10	58
7	6	8	12	10	12	10	58
8	6	8	12	10	12	10	58
9	6	8	12	10	12	10	58
10	7	8	12	10	12	10	59
11	8	8	12	10	12	10	60
12	8	10	12	10	12	10	62
1	8	10	12	10	12	10	62
2	10	10	12	10	12	10	64
3	11	10	12	10	12	10	65

令和6年度 みなみかも保育園 利用状況

一時保育利用状況		
月	利用日数	利用延べ人数
4	6	17
5	16	34
6	19	38
7	20	32
8	13	19
9	9	9
10	10	15
11	6	7
12	10	12
1	12	13
2	11	16
3	15	16
合計	147	228

延長保育利用状況		
月	利用日数	利用延べ人数
4	13	16
5	3	3
6	1	1
7	5	5
8	0	0
9	4	4
10	4	6
11	4	7
12	1	1
1	1	1
2	2	2
3	3	3
合計	41	49

開放デー参加状況		
月	利用延べ人数	給食試食数
4	1	1
5	4	2
6	4	4
7	4	3
8	2	2
9	0	0
10	5	1
11	1	0
12	0	0
1	0	0
2	1	1
3	0	0
合計	22	14

土曜保育出席状況	
月	出席園児数
4	21
5	18
6	31
7	25
8	40
9	22
10	17
11	19
12	33
1	27
2	21
3	26
合計	300

雲南市子ども政策課			愛耕福祉会研修		県社協研修会		島根県保育協議会研修		雲南保育協議会研修		その他	
第1回 幼稚園・保育所・認定こども園職員研修会 子どもが思わずからだを動かしたくなる運動遊びの発展について	1名	園内研（大東保育園）	5名	キャリアアップ研修 （マネジメント）	1名	保育士・保育教諭スキルアップ研修	1名	実技研修「運動遊び」	1名	就学前人権教育講座 （島根県教育委員会）	1名	
第2回 幼稚園・保育所・認定こども園職員研修会 保育の中での音楽遊び	1名	園内研（かもめ保育園）	2名	キャリアアップ研修 （保育実践）	1名	主任保育士・主幹保育教諭研修	2名	実技研修「絵本」	2名	親子読書研修会	1名	
第3回 幼稚園・保育所・認定こども園職員研修会 子どもの造形表現へのアプローチ	1名	島根県中小企業家同友会 合同フォーラム 新入社員研修 ローアアップ研修	1名	キャリアアップ研修 （幼児教育）	1名	保育者研修会	1名	実技研修「音楽」	1名	雲南圏域医療的ケア児の在宅要領生活支援研修会	1名	
第4回 幼稚園・保育所・認定こども園職員研修会 子どもの理解と支援	2名	人権研修	全職員	キャリアアップ研修 （障がい児保育）	2名	食育推進研修	1名	保育士部会研修「ヘルスケア研修」	2名	歯科保健従事者研修	1名	
第5回 幼稚園・保育所・認定こども園職員研修会 「にっこりい」での取組について	2名	成果を上げるための業務改善 （全2回）	2名	キャリアアップ研修 （食育・アレルギー）	1名	島根県保育研究大会 （Web研修）	8名	ブロック別「保育を語る会」	2名	保育士・保育教諭合同研修 （島根県教育委員会）	1名	
第6回 幼稚園・保育所・認定こども園職員研修会 「もう一歩踏み出そう」子どもにとって居心地の良い園・所にするために	2名	クレドプロジェクト会議 （全4回）	2名	キャリアアップ研修 （保護者支援）	1名	施設長研修	1名	公開保育「赤名保育所」	1名	元気あっぷ夏季节セミナー	2名	
職員研修会～アタッチメントについて	4名	ストレスチェック制度を用いた職場環境改善と生産性の向上 （全2回）	2名	キャリアアップ研修 （保健衛生・安全）	1名	新任職員研修会	1名	保健を語る会	1名	特別支援教育説明会	2名	
各施設研修～不適切保育について	全職員	職場のリーダーに求められる統率力の向上 （全2回）	2名	キャリアアップ研修 （乳児保育）	2名			療育を語る会	1名	雲南市幼小連携・継続推進に係る研修会	2名	
		園内研修会								ISYOU幼稚園・保育所指導者見学会	1名	
		園内研修（5歳児）	6名							早期支援体制づくり研修	4名	
		園内研修（4歳児）	6名							しまね働く女性きらめき応援塾	2名	
		園内研修（3歳児）	6名							防火管理者講習	1名	
		園内研修（2歳児）	7名							安全衛生推進者養成講習	1名	
		園内研修（1歳児）	7名							居場所からはじめる地域共生社会の実現を考える研修会	1名	
		園内研修（0歳児）	7名									

令和 6 年度 主な行事

月	園内(外)行事	保護者参加行事
4	入園のつどい	保育公開・PTA総会
5	芋苗植え(地域交流)・交通安全教室	
6	田植え体験(地域交流) プール遊び コスモス・ひまわり苗植え(地域交流) 歯科健診・歯みがき指導	笹巻き作り 子育て講演会・クラス懇談会 (5歳児)
7	プール遊び コスモス苗植え(地域交流)	子育て講演会・クラス懇談会 (3・4歳児) 環境整備作業・夏まつり
8	プール遊び・川遊び	
9	プール遊び・内科健診 芋掘り・コスモス祭り(地域交流) 交通安全教室	親子バス遠足(3・4・5歳児) 子育て講演会・クラス懇談会 (1・2歳児)
10	稲刈り体験・柿採り体験(地域交流) わくわくうんなんピック 加茂中学生との交流(夢発見ウィーク) 5歳児交流会	親子運動会・環境整備作業
11	新そば祭り(地域交流) ありがとうの会(地域交流) 加茂小学生との交流会・あそボール 県緑化事業自然クラフト(4、5歳児)	親子遠足(0・1・2歳児)
12	クリスマス会	個人面談 子育て講演会・クラス懇談会 (0歳児)
1	新春のつどい・餅つき(地域交流) 多文化共生講座 あそボール・いのちのおはなし(4・5歳児) LiLicaさん&ふいーこさんコンサート	
2	節分の集い・入園前説明会・健康診断 笑寿苑さんとの交流(地域交流)	発表会(3・4・5歳児) 保育公開(0・1・2歳児)
3	修了記念品作り(地域交流)・お別れの会 修了式・修了のつどい	環境整備作業
毎月	誕生会 発育測定 避難訓練 もぐもぐタイム 保育公開日(自由参観) 弁当日(7月～9月を除く)	